# 白山手取川ジオパーク現地審査報告書

日 時:2013年8月11日(日)~ 8月13日(火)

現地審査員:中川和之(日本ジオパーク委員会)

野辺一寛 (隠岐ジオパーク推進協議会)

松原典孝(山陰海岸ジオパーク推進協議会)

## 【各項目のまとめ】

## (1) ジオパークの名称とテーマ

日本列島のほぼ中心である、石川県の加賀地方に位置する白山市全域をジオパークのエリアとし、白山市の名称は地域の象徴となっている白山に由来している。また、この白山を源とする手取川は山間地を抜けると広大な手取川扇状地を形成し、日本海に流れ込んでいる。手取川は流域の人々に多くの恵みをもたらしていることから、白山と手取川という地域の大きな象徴をもって名称を「白山手取川ジオパーク」としている。

また、それぞれの地域資源を結ぶキー・ワードとして水を用いており、「山ー川ー海そして雪 いのちを育む水の旅」をテーマとしている。 ただ、水の旅だけをキー・ワードとしていることから、大地の変動の部分が伝わりにくく、「水の旅」だけがジオパークという認識が広く浸透しないうちに、早期に改変が必要。

#### 更なる工夫が必要。

### (2) ジオサイトと保全

自山ジオパークの山と雪のエリアに位置する白山周辺は白山国立公園に指定されており、国立公園区域がそのままユネスコエコパークに指定されている。こうしたことから、夏季における自家用車の乗り入れ規制や外来種の駆除活動や外来植物の進入を防ぐための種子除去マットの設置などにも取り組んでいる。また、日本郵政(株)との提携によって「白山手取川ジオパークの資源保全に係わる情報提供に関する協定」を締結し、郵便配達などの業務中に発見した資源の異常についての連絡体制を構築しており他ジオパークが参考とすべき取り組みを行っている。

各ジオサイトや町並み散策、登山ルートなどには解説看板が整備されていたが、ジオパーク活動以前にそれぞれの事業で設置されたものであることから、白山ジオパーク全体としての特徴と全体的なストーリーの中での位置づけが不足しており、GGN レベルのジオパーク仕様になっているものは少ない。ただ、看板は安価で修正できるようになっており、改善は容易である。既設解説看板へのジオパークの名称とロゴマークの設置なども一部に留まっている。手取川下流域の一部が、ジオパークのエリア外である能美市や川北町となっているが、川北町内を利用したジオツアーの開催や能美市内の道の駅が拠点施設になるなど、連携は進んでいるがエリアの拡大には至っていない。

#### (3)教育・研究活動

ジオパーク内には、白山市が運営する白峰化石調査センターの他、石川県が運営する白山自然保護センター、白山ろく少年自然の家や環境が運営するビジターセンター、国交省が運営する白山砂防科学館などの多数の既存施設を活用し、小中学校への教育活動や研究

活動に取り組んでいる。ただ、それぞれの機関がそれぞれの活動においての教育・研究活動となっているため、ジオパークという大きな位置づけの中での取り組みとして活動を行う事が求められる。また、小中学校での取り組みは積極的に行われているが、高校での取り組みは「白山ジオろーる」の商品開発などに留まっている。金沢大学の関係研究者が、継続的な調査研究を行うと共にジオパークの学術部門を支えている。

## (4) 管理組織、運営体制

白山手取川ジオパーク推進協議会には、白山市を母体として、行政、教育機関、公民館、ボランティアガイド協会などの自治、市民団体、商工、観光団体、交通機関など 35 団体が参画している。

協議会の事務局には、事務局長以下 5名のスタッフ(白山市観光推進部ジオパーク推進室)と協議会で雇用している 2名の専門員(地質、地理)の計 7名が専任として配置されており、更に観光推進部と教育委員会の職員 12名が兼任として事務局をサポートしている。

## (5) 地域の持続的な発展とジオツーリズム、ガイド養成

ジオパーク活動の推進によって、高校生による「白山ジオろーる」やジオラスクなど地 元企業によるジオ関連商品が開発されている。

ジオツアーでは、協議会と旅行会社との提携によって平成 25 年度には約 30 回のジオツアーが企画されており、白山を三日間かけて 100km を走る白山ジオトレイルなどジオパークを活用した新たなツアー商品も造成されているが、地元旅行会社が主体となったジオツアーの商品造成と各宿泊施設におけるジオパークの PR はまだ不足している。

ガイド養成においては、既存のガイド組織を活用してジオガイドとしてのスキルアップに取り組む一方、白山ジオパークのキー・ワードでもある水の旅を用いた「水の旅案内人」制度を 2012 年度より導入している。ガイド講習などで「水の旅」が強調されており、水と共に「石の旅」である部分が説明材料として十分に共有されていない。また、拠点ごとのガイドに留まっており、エリア全体の解説が行えるガイド養成が進んでいない。

### (6) 拠点の整備

白山ジオパークの情報発進の拠点としては、車での入り口となる道の駅「しらやまさん」 (隣接の能美市にある)を中心として、環境省のビジターセンター、国土交通省の砂防科 学館などを活用しているが、環境省や国土交通省の施設ではそれぞれの事業に関する情報 提供が主でありジオパークに関する情報が不足している。また、空路で来た場合の小松空 港や鉄道を用いた場合の松任駅におけるジオパークの PR が不足しており、白山ジオパー クの入り口としての印象が薄い。

### (7)国際対応(および他地域との連携)

白山市の国際交流課を中心として国際対応を行うが、協議会職員として英語の対応できる職員を雇用している。協議会の Website は英語対応となっている。

ドイツのアイフェルジオパークへの視察を行っているが、具体的な連携内容については未定。GGN への加盟の場合、大きな課題の 1 つとして GGN への貢献実績とこれからの計画が求められており、そうした面では、GGN、EGN、APGN 会議などへの参加や会議での発表実績、他 GGN 地域との連携実績が不足している。

# (8) 防災・安全

当該地域においては、これまでにも土石流や地すべり、水害などの災害を経験していることから防災・安全に対して積極的に取り組んでおり、ジオパークとしての見どころにもなっている。地元に対しては、白山市防災計画(2012 年度改訂版)に「白山手取川ジオパークを活用した防災教育の推進」が盛り込まれている。また、2013 年度からは石川県と岐阜県の関係者が参画し白山火山の噴火警戒レベルや避難範囲等を定める「白山火山防災協議会」が設立され、火山防災への取り組みが始められている。

## 主な対応者(敬称略)

作野広昭(白山手取川ジオパーク推進協議会長・白山市長、小澤 昇(白山手取川ジオパーク推進協議会副会長・白山市公民館連合会会長)、山口 隆(事務局長)、徳井孝一(事務局次長)、青木賢人(金沢大学准教授)、平松良浩(金沢大学准教授)、東野外志男(石川県白山自然保護センター研究主幹)、松木崇司(環境省白山自然保護官事務所保護官)、金谷孝雄(国土交通省金沢河川国道事務所流域対策課課長)、中尾康弘(気象庁金沢地方気象台火山防災官)、松井 毅(白山市教育委員会教育長)、新谷和幸(石川県観光戦略推進部観光振興課課長)、古田文治(白山市観光推進部部長)、村西博二(白山市観光ボランティアガイド協会会長)、西川義正(白山市観光ボランティアガイド協会副会長)磯部雄三(白山市観光ボランティアガイド協会事務局長)、山口幸一(白山市ボランティアガイド協会理事)、緑井隆一(一般社団法人白山観光協会専務理事)、谷野喜代子(ネイチャープロジェクト白山ガイド)、山田喜一(NPO 法人白山しらみね自然学校)、西山 徹(ウエルカム白山)、紺清美千子(パーク獅子吼・スカイ獅子吼支配人)、安実隆直(白山市議会議員・水の旅案内人)、荒木敏明((株)あら与代表取締役社長・水の旅案内人)、斉田敬行(美川商工会事務局長)、白尾正敏(沢のや・水の旅案内人)、小田芳子(松任うぐいすの会)

### 【調査場所】

- 8月11日(日)
- ①市ノ瀬ビジターセンター: 8:45-9:00 (環境省自然保護官、白山ガイド、協議会事務局)
- ②中飯場:9:40-10:20(ボランティアガイド、国土交通省、気象庁、協議会事務局)
- ③百万貫の岩:11:00-11:20 (ボランティアガイド、国土交通省、協議会事務局)
- ④白山砂防科学館:11:40-11:55 (国土交通省、協議会事務局)
- ⑤白山苑:昼食(白山百膳)
- ⑥関係者ヒアリング I (白山市白峰支所): 13:00-13:30 (協議会会長、副会長、教育長、石川県観光戦略推進部観光振興課長、金沢大学青木准教授、ボランティアガイド協会会長、白山市観光推進部長)
- ⑦関係者ヒアリングⅡ(白山市白峰支所): 13:30-14:30(副会長、石川県観光戦略推進部観光振興課長、金沢大学青木准教授、ボランティアガイド協会会長、白山市観光推進部長、国土交通省流域対策課長、気象庁火山防災官、環境省自然保護官、アクティブレンジャー、白山自然保護センター研究主幹、ボランティアガイド協会事務局長、ボランティア

- ガイド協会理事、しらみね自然学校理事、白山ガイド、白山観光協会専務理事)
- ⑧桑島化石壁:14:40-15:00 (協議会事務局)
- ⑨白峰化石調査センター:15:00-15:50 (化石調査センター調査員、協議会事務局)
- ⑩白峰集落(重伝建地区):16:00-16:30 (地元ガイド、協議会事務局)
- ⑪手取峡谷:16:30-17:10 (地元ガイド、協議会事務局)
- ⑫鳥越城跡:17:10-17:40 (地元ガイド、協議会事務局)

# 8月12日(月)

- ①道の駅「しらやまさん」: 8:30-9:10 (水の旅案内人:市会議員、協議会事務局)
- ②パーク獅子吼、スカイ獅子吼:9:20-10:10 (獅子吼支配人、地元ガイド、事務局)
- ③鶴来のまちなみ:10:20-10:50 (地元ガイド、協議会事務局)
- ④美川の湧水群と四十物通り:11:20-11:50 (あら与社長:水の旅案内人、美川商工会事務局長、地元ガイド、協議会事務局)
- ⑤はりんこ増殖池、美川のまちなみ:11:55-12:10(地元ガイド、協議会事務局)
- ⑥沢のや:昼食
- ⑦松任のまちなみ:13:30-14:20 (公民館職員、地元ガイド、白山市教育委員会、事務局)
- ⑧自己評価表のチェック:14:30-17:50 (協議会構成団体、協議会事務局)

### 8月13日(火)

- ①事務局ヒアリング (白山市役所): 9:00-11:30 (協議会事務局)
- ②協議会会長ヒアリング(白山市役所): 11:30-12:00(白山市長、白山市観光推進部部長、協議会事務局)